

おわりに

結びになります。このたびの能登半島地震では、半島という地形的な特徴もあり、道路の寸断による現地へのアクセスやライフラインの復旧及び確保など、様々な課題が浮かび上がっており、近い将来に発生が危惧される南海トラフ巨大地震に対する備えにおいても、四国や本市の特性を踏まえた対策を今一度検討していく必要性を感じております。

また、大規模災害に限らず、国際情勢の不安定化や急速に進む人口減少など、私たちを取り巻く社会環境は、大きな変動要因にさらされております。

これら諸課題は、相互に関連する要素を含め、多様化、複雑化しており、従来のような一面的な対策や経済的な合理性及び効率性を追求するだけの対応では、今後の社会の持続的発展を保持していくことは困難な状況にあります。

私は、こうした先行き不透明な時代だからこそ、今後の政策決定においては、中長期的な公益性の観点に基づく判断が不可欠だと考えており、公益性の中で合理性や効率性の追求、そして、それらの調和を保つまちづくりを推し進めてまいります。

経営の神様と言われた稲盛和夫さんは、「人生と仕事の結果は、考え方と熱意と能力の3つの要素の掛け算で決まる。」という言葉を残されております。

稲盛氏は、「熱意」と「能力」がどれだけ高くても、人をだましたり、粗悪なサービスを提供していれば、人生や仕事の結果も大きなマイナスになってしまい、「考え方」次第で結果は180度変わってくるのだ、つまり、「正しい考え方を持つこと」が何よりも大切になるのだと、唱えられているのです。

より不透明な社会情勢が見込まれる今後にあっても、「公の利益にとって真に必要なものは何か」、そして、「未来を生きる世代に向けた公益の確保」という信念を、胸にしっかりと刻み、常に前向きな志を持って市政運営に取り組んでまいります。

そうした観点に立ち、時代に即した未来の新居浜のビジョンを、議員の皆様、市民の皆様と共有させていただきながら、お約束した公約の実現に向け、全力で邁進してまいりますので、皆様におかれましては、「チーム新居浜」の一員として、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。